

消防備品類《消防服》
入札参加資格有資格者【岡山県内】

物品購入 見積徴取通知書

このことについて、下記により見積りを徴取しますので通知します。

記

1. 物品購入名称 救急服・救助服・編上靴購入（消防総務課）
2. 規格及び数量 別紙「物品購入仕様書」のとおり
3. 見積提出場所 **真庭市役所財産活用課**
4. 見積提出期限 **令和 8年 5月21日 17時00分 （必着）**
5. 開札予定 **令和 8年 5月22日 9時00分**
6. 納入場所 真庭市消防本部総務課
7. 納入期限 **令和 9年 3月31日**

(1) 規格・仕様等詳細についての質問事項は、令和 8年 5月13日 12時00分までに
メールにて下記担当に問い合わせてください。

消防本部総務課〔担当〕植田 雅也〔アドレス〕sohmu_shobo@city.maniwa.lg.jp

(2) 見積書の見積金額については、税抜きで記載すること。

(3) 見積書には内訳書（貴社様式見積書可）を必ず添付すること。

(4) 見積書は封書で提出し、見積物品名・物品番号及び見積書在中と表記してください。

(5) 落札業者決定方法は、最低金額見積業者を落札業者とします。

(6) 本見積徴取の取扱いは「真庭市見積徴取参加心得」(ホームページ掲載)の定めによります。

(7) 本見積結果は、落札者のみに連絡します。結果の公表は、財産活用課窓口で閲覧できます。

(電話での問合せにはお答えできませんのでご了承ください。)

(8) 見積の通知日から落札者の決定する日の間、入札参加資格でない場合の見積書は無効となります。

(支店・営業所は契約を委任されていないと無効となります。)

※ 見積書を提出される場合、普通郵便または持参で可

※ 辞退届を廃止しているため、参加者のみ見積書を提出すること

物品購入仕様書

案件年度 令和8年度 物品番号 074

品名	救急服・救助服・編上靴購入（消防総務課）	数量	一式
<p>形式 (規格、内容等)</p>	<p>購入物品 救急服 上衣10着、ズボン16本 夏用救助服 上衣2着、ズボン5本 冬用救助服 ズボン1本 編上靴 18足</p> <p>※同一年度内に再購入する場合の単価は、本契約単価とする。</p> <p>サイズ 落札業者と協議し決定する。</p> <p>型番指定 「救急服仕様書」「救助服仕様書」「編上靴仕様書」記載</p> <p>納入期限 令和9年3月31日（水）</p> <p>納入場所 消防本部総務課（真庭市惣254-8）</p> <p>欄が不足する場合、別ファイル（ワード又はエクセル）を添付のこと。</p>		
<p>参考型番</p>			<p>○ 型番指定 （該当に○をすること） 同等品以上</p>
<p>型番指定する理由</p>	<p>上記形式の制服を貸与しており、他のメーカーの製品では、形、色、素材が違い、職員間の統制が図れないため。</p>		

救急活動服仕様書

真庭市消防本部

1. 概要

この仕様は、真庭市消防本部における救急活動服について定める。

2. 総則

- (1) 当救急活動服の製作に要する費用は、当初に契約したとおりとする。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが確認できるようにし納品すること。
- (5) 契約時にメーカーが発行した出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸は、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (9) 仕様書内縫製上の数値は全て約表記とする。

3. 品名及び数量

救急活動服上衣	10 枚
救急活動服ズボン	16 本

※同一年度で再購入する場合の単価は、本契約単価とする。

4. 納期

令和9年3月31日

5. 納品場所

消防本部

6. 形式

(1) 上衣

スタンドカラーフルジップ式、衿トリミング、両胸ファスナー式アウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、肘当て付き、背ヨーク切り替え、裾シャツ型、背中切り替え蓄光パイピング挟み込み、両肩部切り替え蓄光パイピング挟み込み、階級章台、裾シャツ型、背プリント入り、左胸・左袖マジック台座付き、右袖ペン差し付き

(2) 下衣

ワンタック、左右脇ポケット、左右両大腿部ファスナー式切ポケット付き、膝当て付き、左上前ファスナー開き前カン止め、ベルトループ7本付き、左右尻ポケット、裾シングル始末

7. 材料

(1) 生地

上衣

ア 素材	日本毛織(株)	NN504	難燃トロピカル
イ 混紡率	メタ系アラミド	50%	パラ系アラミド 2%
	難燃レーヨン	24%	再生ポリエステル 24%
ウ 色相	グレー(指定色)		
エ 加工	制菌加工		

上衣副生地

ア 素材	日本毛織(株)	FX180	難燃トロピカル
イ 混紡率	メタ系アラミド	55%	難燃レーヨン 30%
	再生ポリエステル	15%	
ウ 色相	ネイビー(指定色)		
エ 使用箇所	背ヨーク、表衿、裏衿トリミング、肩章		

ズボン

ア 素材	日本毛織(株)	NN502	難燃トロピカル
イ 混紡率	メタ系アラミド	50%	パラ系アラミド 2%
	難燃レーヨン	24%	再生ポリエステル 24%
ウ 色相	グレー(指定色)		
エ 加工	制菌加工		

(3) 資材

品名	規格	使用箇所
芯地	接着芯地	衿、フラップ、カフス、見返し、玉縁、
ファスナー YKK製	・樹脂製 60cm~70cm 17cm ・金属製 16cm~22cm	上衣前合わせ ※サイズにより変更 袖口 ズボン前合わせ ※サイズにより変更
面ファスナー <ループ>	2.5cm×4cm 4.5cm×11cm 指定型	階級章台 名札台 左袖ワッペン台
蓄光パイピング	LFUC1200	肩切り替え、背ヨーク切り替え
前カン	金属	ズボン帯前合わせ中心
腰裏 滑り止め付	40mm 巾	ズボン腰裏

8. 縫製条件

ア. 針 数

3 cm 間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

ネムリ穴とする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

9. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

裏衿腰部分にステッチを6本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチをかける。

衿裏に7本ステッチをかけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。

表衿側にはファスナーライダー隠し布を設ける。

裏衿側は副生地を使用し衿周りを1.2 cm 幅で切り替えをいれる。

表衿は副生地を使用する。

イ. 前立て

前立ては見返しと縫い合わせる時にファスナーを付ける。

表面は突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に閉止めをする。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。

エ. 肩章

表裏を縫い合わせ先三角形型とし周囲にステッチをかける。肩側は袖付け根に挟み、袖側より4 cm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は縫い止めとする。

オ. 胸ポケット

幅16 cm、高さ16.5 cm の両玉縁ファスナー付きアウトポケットとし、上辺は胸ヨーク切り替えに挟み付けし、周囲はステッチで縫い付ける。ファスナーは閉じて脇側とし、ポケット口の周囲にステッチをかけ両端は閉止めをする。左ポケット内側に幅2.5 cm のペン差し口を設ける。左胸ポケット内の脇側に4 cm×5 cm のペン差し用ループ(2本用)を付けること。

カ. 左右胸台座

右胸フラップ上部に2.5 cm×4 cmの面ファスナー（ループ）を取り付ける。

左胸フラップ上部に4.5 cm×11 cmの面ファスナー（ループ）を取り付ける。

キ. 背ヨーク

副生地を使用した1枚仕立てV型ヨークとする。背ヨーク、肩章付け辺り位置で切り替え、蓄光パイピングを挟み縫いする。切り替え線のヨーク側にステッチをかける。

大きさは中心で約19 cm（サイズにより変動）とする。

背ヨーク中央に指定デザインをプリントする。＊詳細は協議の上決定する。

ク. 脇身頃

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールは袖下布を上には脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせる。前後身頃側にステッチをかける。

ケ. 袖

2枚袖としカフス幅6 cmとする。袖口に2本タックを取り、ファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。左袖に指定ワッペン台座を縫い付ける。右袖にペン差しを縫い付ける。

コ. 肘当て

生地を2枚重ねし刺子加工を施し楕円形の布を左右の肘にダブルステッチで縫い止める。

サ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

シ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とする。

ス. 片布・品質表示

胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

セ. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返し、見返し裁ち目はオーバーロックをかける。

上前側は、3.5 cm幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。上前裏にファスナーを2条縫いで縫い付け、下前側はファスナーを挟み縫いする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを1個付ける。ポケット口の長さ16 cmとし、口の上下端に門止めをする。口にはステッチをかける。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. カーゴポケット

左右の両脇に上端から29cmの位置に片玉縁付きファスナー式切ポケットを設ける。

ポケットの幅は16cm、深さ20cmとしファスナーは閉じて後ろ側とする。

向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

オ. 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは片倒し縫い、裁ち目はオーバーロックをかける。脇線と後ポケット辺りで切り替え、ウエストベルト付け下から裾まで脇側にステッチをかける。

後身を切り替えた中心側の太腿辺りを斜めに切り替え、裾側へステッチをかける。

ダーツ、後身、内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

カ. 後ポケット

玉縁幅1cm、口の長さ14cmの片玉縁ポケットを左右に付ける。

ポケット口の周囲はステッチをかけ、口の両端は閉止めをする。

向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

キ. ウエスマン（腰帯）

幅4cmとし芯を貼り腰裏にマーベルトを取り付ける。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ウエスマン前中心は前立てステッチ幅に合わせてステッチをかけておく。

ファスナー上の腰帯幅中央に前かんを付ける。

ク. ベルトループ

ベルト通しは幅2cm、通し巾5.5cmのループを前タック位置、脇、腰の各2箇所（計6箇所）に縫い付け下端にステッチをかける。左右脇側ループにのみ通し巾3cmの小ループを設ける。後中心は幅7cm、両端5.5cm、中心部の長さ7.5cmのホームベース型を縫い付けループの両端はステッチをかける。

ケ. 膝当て

生地を2枚重ねし刺子加工を施した長方形の布を左右の膝にダブルステッチで縫い止める。

コ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

サ. 裾

裾はシングルとし、三つ折り始末でステッチをかける。

シ. 脇縫い

後へ片倒しとし、ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス. 内股縫い

縫い割りし、裁ち目はオーバーロック始末とする。

セ. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

ソ. 片布

脇ポケット袋布に縫着する。

タ. 警告ラベル

脇ポケット袋布に縫着する。

10. 寸法表 (単位: cm)

・上衣

部位 サイズ	着丈	肩幅	胸囲	衿丈	ネック
A S	73	44	100	75	39
A M	75	46	105	78	40
A L	77	48	110	81	41
A L L	79	50	115	84	43
A 3 L	81	52	120	87	45
B S	73	48	110	75	43
B M	75	50	115	78	45
B L	77	52	120	81	47
B L L	79	54	125	84	49
B 3 L	81	56	130	87	51

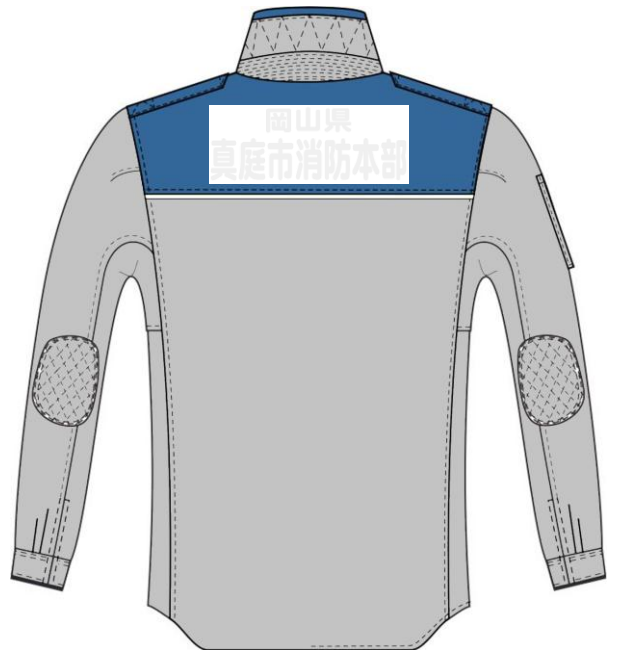
・ズボン

部 位 サイズ	ウエスト	渡り幅	裾幅	股下
A 1	70	33.5	20.5	採寸により決定する
A 2	73	33.5	20.5	
A 3	76	34.5	21	
A 4	79	34.5	21	
A 5	82	35	21.5	
A 6	85	35.5	21.5	
A 7	88	36.5	22	
B 2	91	38	24	
B 3	95	38.5	24	
B 4	100	39	24	
B 5	105	40	25	
B 6	110	41	25	

※採寸ゲージは全て股下7.5cm

1 1. 参考図

・上衣



・ズボン



救助服仕様書

真庭市消防本部

救助服（上下）仕様書

1. 総則

この仕様書は、真庭市消防本部における救助服(上衣・下衣)について定める。

2. 品名、品番、数量及び型式

(1) 品名・品番・数量

夏救助服上衣	NX4848TR	2着
夏救助服ズボン	NX4848PR	5本
冬救助服上衣	NX4040TR	0着
冬救助服ズボン	NX4040PR	1本

*同一年度で再購入する場合の単価は、本契約単価とする。

(2) 型式

・上衣

前立てファスナー(衿先ジップアップ)、脇下ベンチレーション、肩章付き、左右胸両玉縁ファスナー付きポケット、左袖マジック台座付き、肘刺し子付き、袖口ファスナー水かき付き、前後身頃切り替え部・肩部刺し子加工、右胸階級章台、左胸ネーム台付、背部シルクプリント入り

・ズボン

前立てファスナー、ベルトループ5本付き、両サイドファスナー付アウトポケット 膝・脇・後身・股下部刺し子加工

3. 納期

令和9年3月31日

4. 生地

(1) 種類

ア. 夏用 東レ 難燃ストレッチロピカル	NX4848R
冬用 東レ 難燃ストレッチツイル	NX4040R

イ. 混紡率

メタ系アラミド 94% パラ系アラミド 4% ポリウレタン 2%
電性繊維混入、防汚加工<テクノクリーン>

ウ. 色相

c/#ROR レッドオレンジ

エ. ストレッチ性

13%以上

5. 条件

- (1) 針数は3cm間に飾り・刺し共に10針以上とすること。
- (2) 縫製糸はアラミド糸とし、生地と同色とすること。

(3) 縫製の糸調子は上下共ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

その他不明な点については、消防本部と協議すること。

6. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

裏衿腰部分にステッチを9本かけ衿腰より衿端にはジグザグステッチをかけ、8本ステッチをかけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。表衿と縫い合わせ、周囲にダブルステッチをかける。

衿・前端にファスナーを前身頃から続けて付ける。裏衿側は突合せとし、ファスナーのムシを見せないように付け、表衿側も顎部保護の為、ムシを見せないようにして付ける。

イ. 前身頃

切り替え部分に表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

前立ては見返しと縫い合わせる時、ファスナーを付ける。

表面は突合せとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナー端の見返し側よりダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めをする。

袖ぐり、脇切り替え部分にはダブルステッチをかける。

ウ. 胸ポケット

左右の胸に口の長さ約14cmの両玉縁ファスナー付の切りポケットを付ける。

口の周囲にステッチをかけ、口の両端は返し縫いをする。

胸ポケットファスナーは警笛ヒモ収納等を考慮して閉じて脇側とする。

表地を袋布とし、身頃の裏側に当て、周囲は二つ折りし、ダブルステッチを表面まで出るように縫い止める。

左胸ポケット内の脇側に4cm×5cmのベン差し用ループ(2本用)を付けること。

エ. ネーム台・階級章台

右胸ポケット上部に2.5cm幅×長さ4cmのマジック台を取り付ける。

左胸ポケット上部に4.5cm幅×長さ11cmのマジック台を取り付ける。

オ. 肩章

幅約5cm、長さ約13.5cm、衿ぐり側は剣先型とする。

肩章は身頃に挟み縫いし、肩章後ろは長方形の中へクロスステッチをかけ、肩章先は釦止めとする。

カ. 後身頃

後身頃は肩ヨークと縫い合わせ、脇側は脇身頃と縫い合わせダブルステッチを後身頃側にかける。

衿付位置から幅約25cmまで表地を2枚重ねし、刺し子加工する。

キ. 脇身頃

脇身頃下側布と袖下続きの上側布を袖下で重ね、上下を離し前後脇線で縫い合わせ、ベンチレーションホール(通気口)を設ける。

脇下側布の上端先はオーバーロックの二つ折り始末しダブルステッチをかけ、上側布の下端先は三つ折り始末しダブルステッチをかける。前後身頃に袖上、袖下を縫い合わせ、身頃側にダブルステッチをかける。

ク. 袖

2枚袖のカフス幅6cm付きとする。袖口に2本タックを取り、長さ約17cmのファスナーを設ける。

袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。

カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にコバステッチと 6mm 幅のダブルステッチをかける。

袖開きは玉縁ファスナー仕様とし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。

立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。

ケ. 肘刺し子

左右の肘に当て布をダブルステッチで縫い止める。

コ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末しステッチで押さえる。

サ. 片布・サイズ表示・品質表示

片布は左胸ポケット位置の身頃裏面に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む。

シ. 衿吊り

後中心衿ぐりに挟む。

ス. 警告表示

右胸ポケット位置の身頃裏側に付ける。

セ. 背プリント

後身頃に指定デザインを黒色シルクプリントにて入れる。 ※詳細は協議とすること。

岡山県 真庭市消防本部

ソ. 袖ワッペン台

左袖に直径 10cm のワッペン台座を縫い付けること。

(2) スポン

ア. 前

ウエスト続きの身頃とし、ウエストから膝上までと膝下で 2ヶ所切り替え、表地 2 枚を重ね、刺し子加工をする。

ファスナー下から裾まで切り替え、前身頃側にダブルステッチをかける。

イ. 前立て

左上前立てに芯を貼り、約 4cm 幅と 6mm 幅の飾りステッチで押さえ左上前ファスナー開き止まり位置は小丸にし、ミシン門止めをする。見返し奥の裁ち目は芯と共にオーバーロック始末をする。

右前ファスナー下に持ち出し布を付け、身頃と持ち出し布のはぎ目にファスナーを挟みコバステッチをかける。

持ち出し布は表裏共に表地とし、見返し側の奥端はオーバーロック始末をする。

ウ. 膝当て

表地 2 枚を重ね刺し子加工し、周囲をダブルステッチで付ける。

エ. 内股

前ファスナーから前切り替え線の臀部下位置までの上部に刺し子加工をした布をダブルステッチで付ける。

オ. 後

後身はウエストより裾まで切り替え、ダブルステッチで押さえる。

後中心ベルトループ下から切り替え、刺し子加工を施した表地を重ね、ダブルステッチで押さえる。

後尻部分の切り替えに刺し子加工をした表地を臀部下まで重ね、ダブルステッチで押さえる。

カ. ウエスト

ウエスト内側はマーベルト仕様とし、上端にステッチをかけ、更に下へ約 3.5cm 幅のステッチをウエスト一周かける。

キ. ベルトループ

ベルトループ幅約 9cm、通し幅約 6cm、ループの両端にコバステッチをかける。

左右の前切り替え位置・後切り替え位置に 4 本付け、上端は約 5mm 下げて縫い、下側はダブルステッチで身頃に縫い止める。後中心のループ幅約 10cm、通し幅中心で約 6cm、両端にコバステッチをかけ下端は剣先型とする。上端は約 5mm 下げて縫い、下側は剣先に合わせて三角形にコバステッチで縫い止める。

ク. アウトポケット

左右脇アウトポケットの幅 21cm、長さ 22cm、左右にマチ布を付ける。

ポケット口はファスナー開き 17cm の突合せとし、玉縁の上下端はコバステッチをかける。

ケ. 脇

前後身頃の切り替え部分、臀部下あたりまで刺し子加工を施した布をダブルステッチで付ける。

コ. 尻縫い

左後身側へ片倒しをし、ダブルステッチをかける。

サ. 裾

裾はヒモを入り、渡りミシタタキ仕上げとする。

シ. 片布

片布は左脇アウトポケット位置の裏側に付け、下にサイズ表示・品質表示を挟む

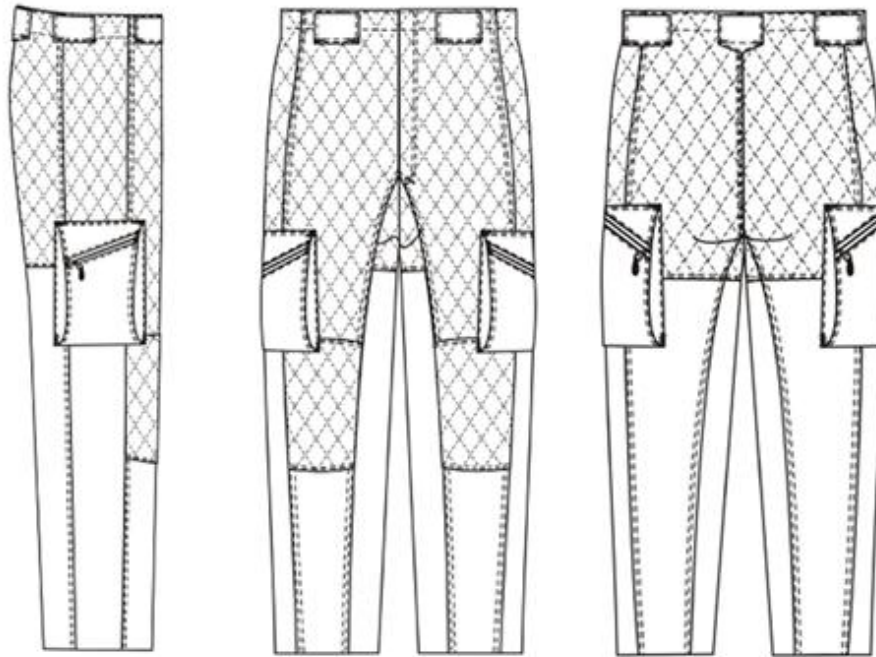
ス. 警告表示

右脇アウトポケット位置の裏側に付ける。

7. サイズ表(単位 : cm)

部位 サイズ	着 丈	胸 囲	胴 囲	裾 丈	ウエスト	ヒップ	渡り巾	股下
SS	73	97	95	77	71	96	32	採寸による
S	73	101	99	79	75	100	33	
M	75	105	103	81	79	104	34	
L	77	111	109	84	83	108	36	
LL	79	117	115	86	87	112	37	
3L	81	123	121	89	91	116	38	
4L	81	129	127	91	95	120	40	
5L	81	135	133	94	99	124	41	

8. 参考図



編上げ靴仕様書

真庭市消防本部

編上げ靴仕様書

1. 適用

この仕様書は、真庭市消防本部が調達する編上げ靴について規定する。

2. 製品規格

この靴は公益社団法人日本保安用品協会が規定する JSAA 規格 A 種型式認定品である。

3. 形式 (品番 (株)イマジョー JOE WING)

4. 購入数量

18足

※同一年度内に再購入する場合の単価は、本契約単価とする。

5. 納入場所

真庭市消防本部

6. 納入期限

令和9年3月31日

7. サイズ

靴のサイズは下記の通りとする。

(単位: cm)

22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0
27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0	31.0			

*ウイズは3Eとする。

8. 製法

セメント製法とする。

9. 性能

かかと部衝撃エネルギー吸収性、静電気帯電防止、踏抜き防止、耐滑性

耐圧迫性	圧迫力 kN	10±0.1
	中底と先芯のすき間	*別表1を参照

試験方法 JIS T 8107 の 5.4 による

耐衝撃性	衝撃エネルギー J	70
	スタイカ質量 Kg	20±0.2
	落下高さ cm	36
	中底と先芯のすき間	*別表1を参照

試験方法 JIS T 8107 の 5.3 による

*別表1 試験時の中底と先芯のすき間

サイズ	すき間 (mm)
23.0 以下	12.5 以上
23.5~24.5	13.0 以上
25.0~25.5	13.5 以上
26.0~27.0	14.0 以上
27.5~28.5	14.5 以上
29.0 以上	15.0 以上

表底の剥離抵抗	200N以上
---------	--------

試験方法 JIS T 8107 の 5.1 による

かかと部衝撃エネルギー吸収性	20 J 以上
----------------	---------

試験方法 JIS T 8107 の 5.10

耐踏抜き性	くぎ貫通時の力	1100N以上
-------	---------	---------

試験方法 JIS T 8107 の 5.7.1 又は 5.7.2 による

耐滑性	動摩擦係数	0.20 以上
-----	-------	---------

試験方法 JIS T 8107 の 5.14 による

制電気帯電防止性	1 個当たりの電気抵抗(R)	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8$
----------	----------------	-----------------------------------------------

試験方法 JIS T 8103 の 9.1 による

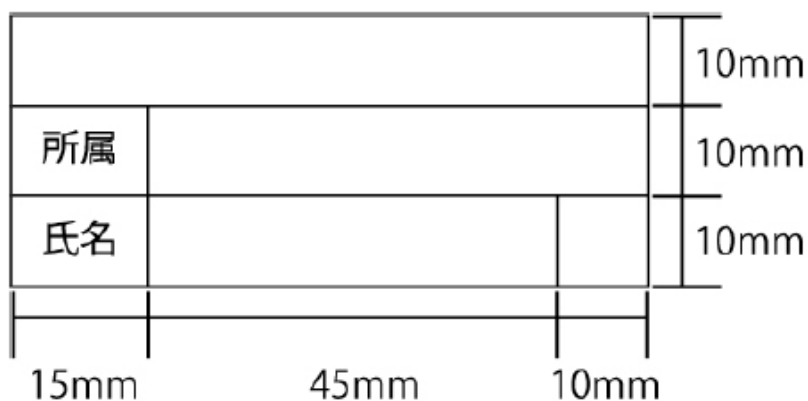
試験条件 温度 23±2℃ 環境状況 C3 (相対湿度 50±5%)

10. 製品仕様

①表示 サイズ 1. ベロ裏の原産国表示に表示

2. 表底の踏まず部分に表示

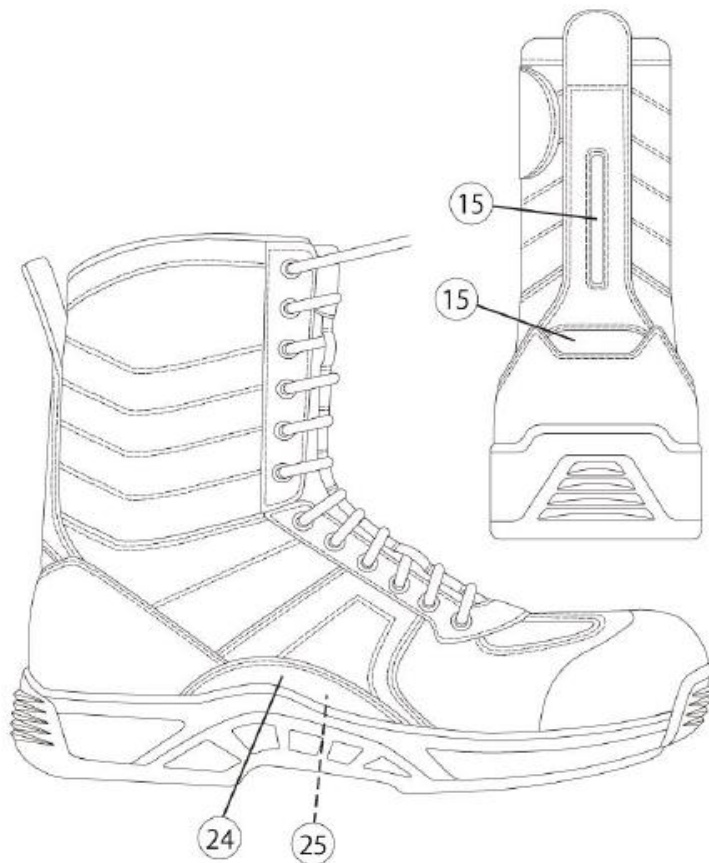
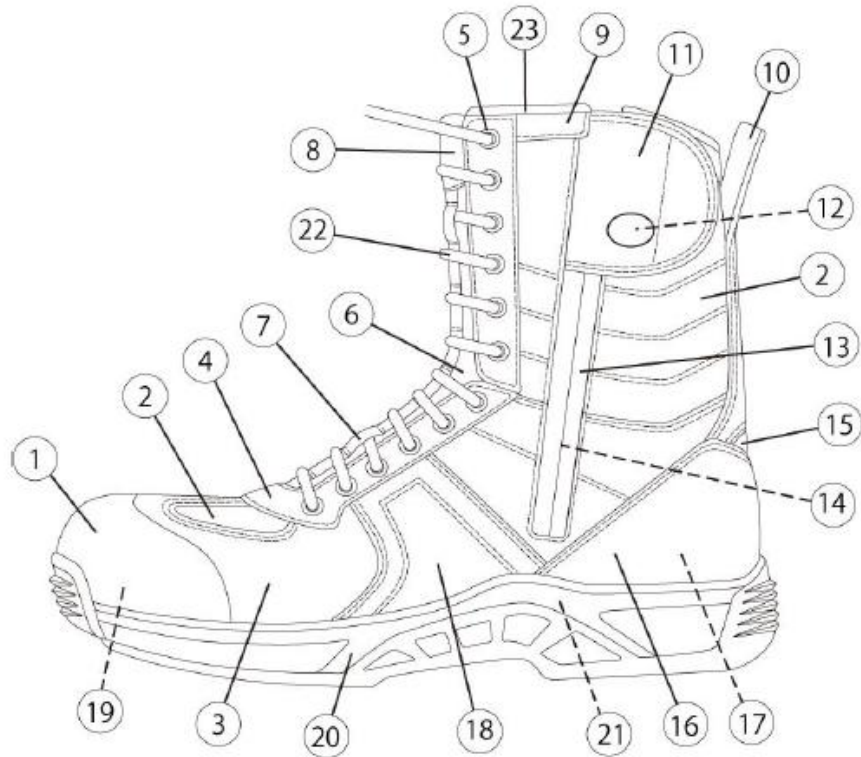
氏名片布 左右足の胴体内側部分に転写プリントで以下の表示

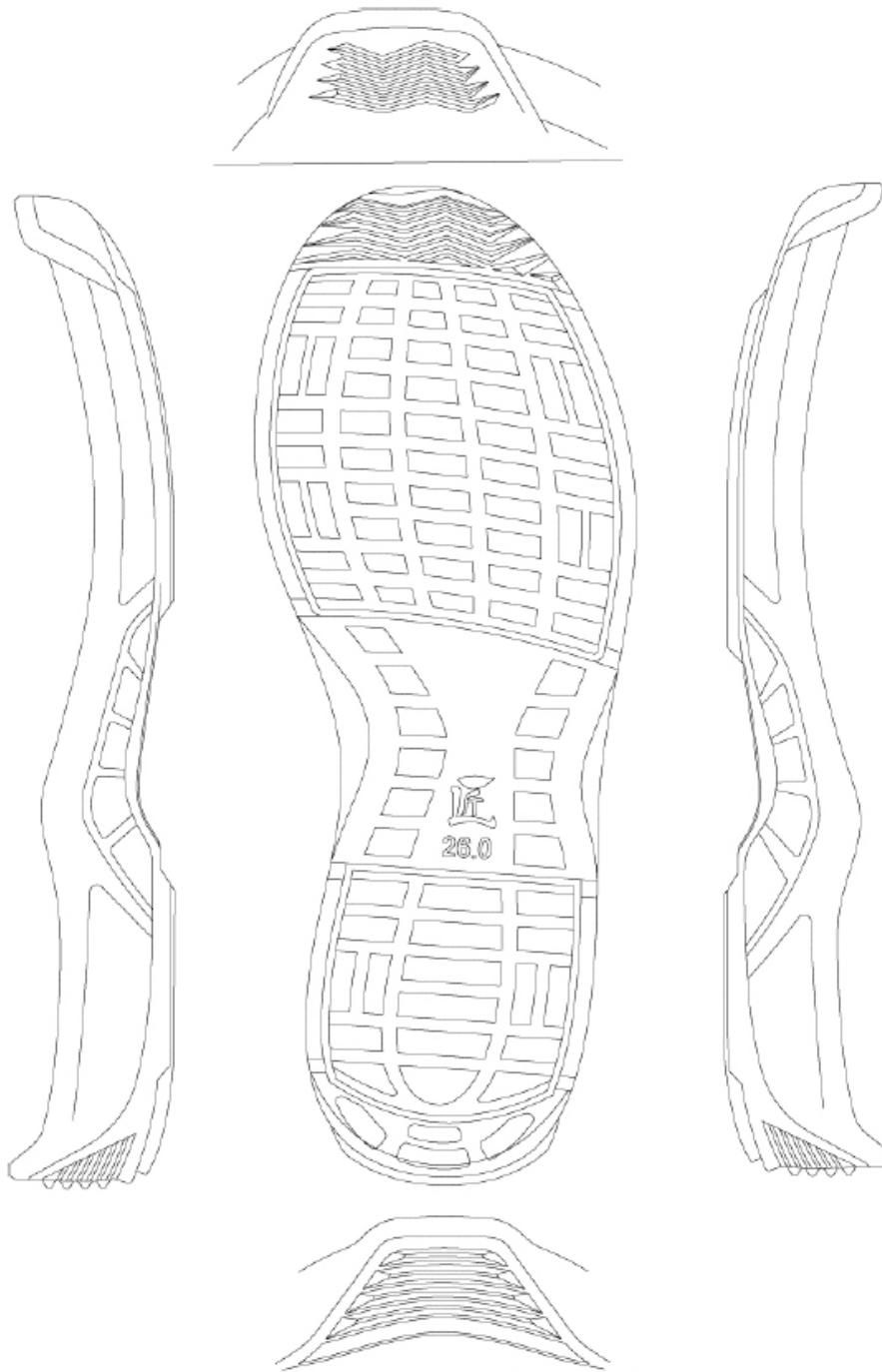


②部品

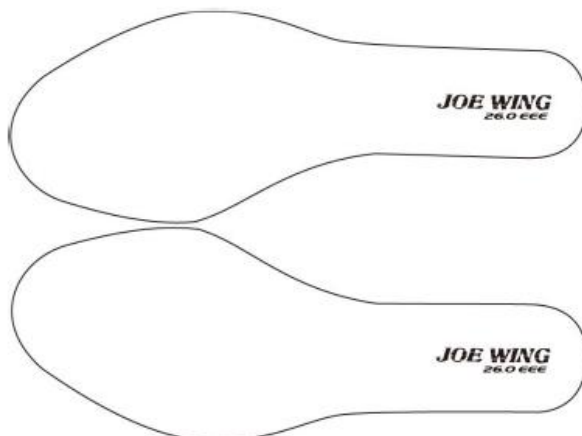
1	つま先補強ゴム	ゴム 1.4mm
2	甲被（メッシュ）	ポリエステルメッシュ
3	甲被（合成皮革）	PVC（合成皮革） 1.6mm
4	ハト目飾り	PVC（合成皮革） 1.6mm
5	ハト目	金属製（つや消し焼付塗装）
6	ベロ	ポリエステルメッシュ
7	ベロテープ	PVC（合成皮革） 1.6mm
8	ベロ飾り	PVC（合成皮革） 1.6mm
9	履き口飾り	PVC（合成皮革） 1.6mm
10	かかとテープ	スーパーPU（合成皮革） 1.5mm
11	ベルト	ポリエステルメッシュ
12	面ファスナー	モヘアタイプ
13	ファスナーカバー	PVC（合成皮革） 1.6mm
14	ファスナー	YKK 製：8C
15	反射材	再帰反射（オレンジ）
16	かかと補強	PVC（合成皮革） 1.6mm
17	月形芯	ホットメルト 1.5mm
18	横甲補強	スーパーPU（合成皮革） 1.5mm
19	先芯	ガラス繊維
20	アウトソール	合成ゴム
21	踏抜き防止板	ステンレス板 0.6mm
22	靴紐	ポリエステル 100% 丸紐
23	裏布	ポリエステルメッシュ
24	刺し抜き防止板カバー	天然皮革 1.7mm
25	刺し抜き防止板	ステンレス板 0.6mm
	縫製糸	ポリエステル
	インソール	EVA+ポリエステル
	衝撃吸収材	Silica Gel

製品仕様





インソール 左右踵部分に「JOE WING」 「サイズ/ウィズ」を転写プリント



45mm
JOE WING
 26.0 EEE 10mm